

指標の意義

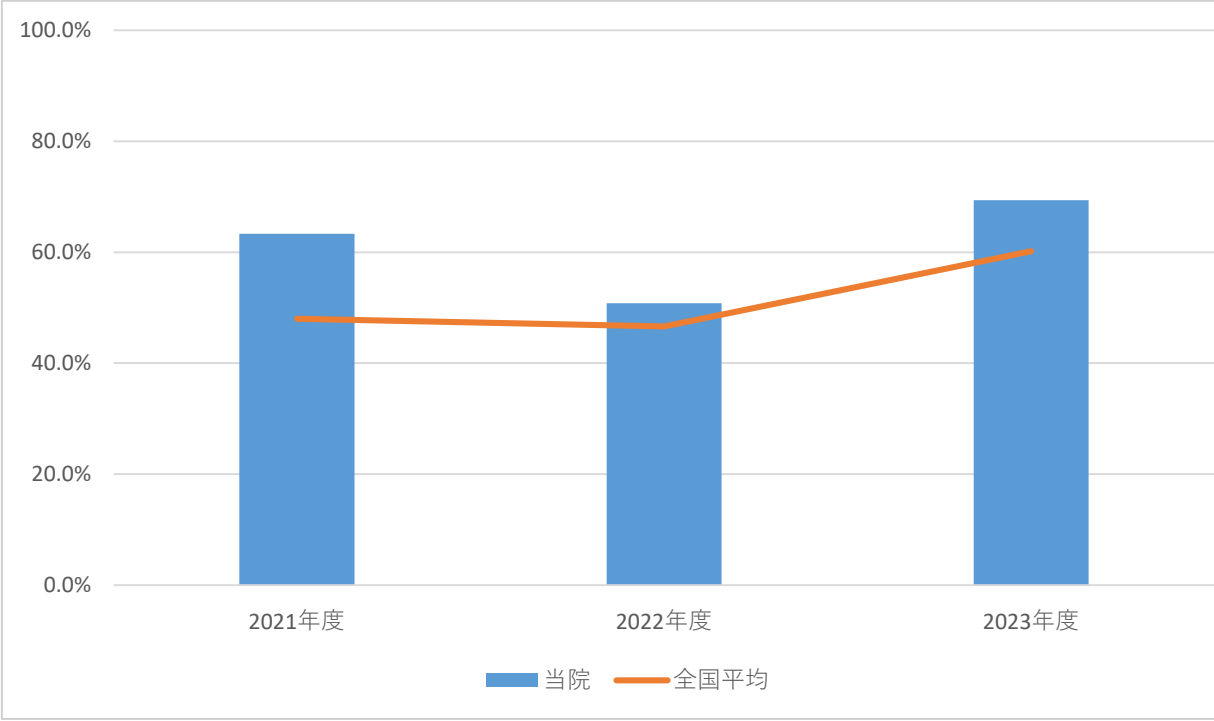
脳卒中の治療は、急性期の治療後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要です。これらの患者に対する地域連携パスの使用等、地域連携に関連した実施率を見ることは、地域医療に関する医療体制を評価することにつながります。

定義

分母：脳卒中で入院した患者数
分子：地域連携に関する算定のある患者数

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分母値			281	311	526
分子値			178	158	365
数値			63.3%	50.8%	69.4%



指標の説明

より高い値が望ましいとされます。
急性期の治療から回復期へのスムーズな移行ができるように病院同士での連携を強化する必要がありますが、小山近郊地域は急性期病床数に比べて連携先となる回復期の病床数が少ない傾向にあります。
今後の、地域医療構想の中で回復期の病床数の拡大が検討されることを期待しています。

26-b

大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携の実施割合

指標の意義

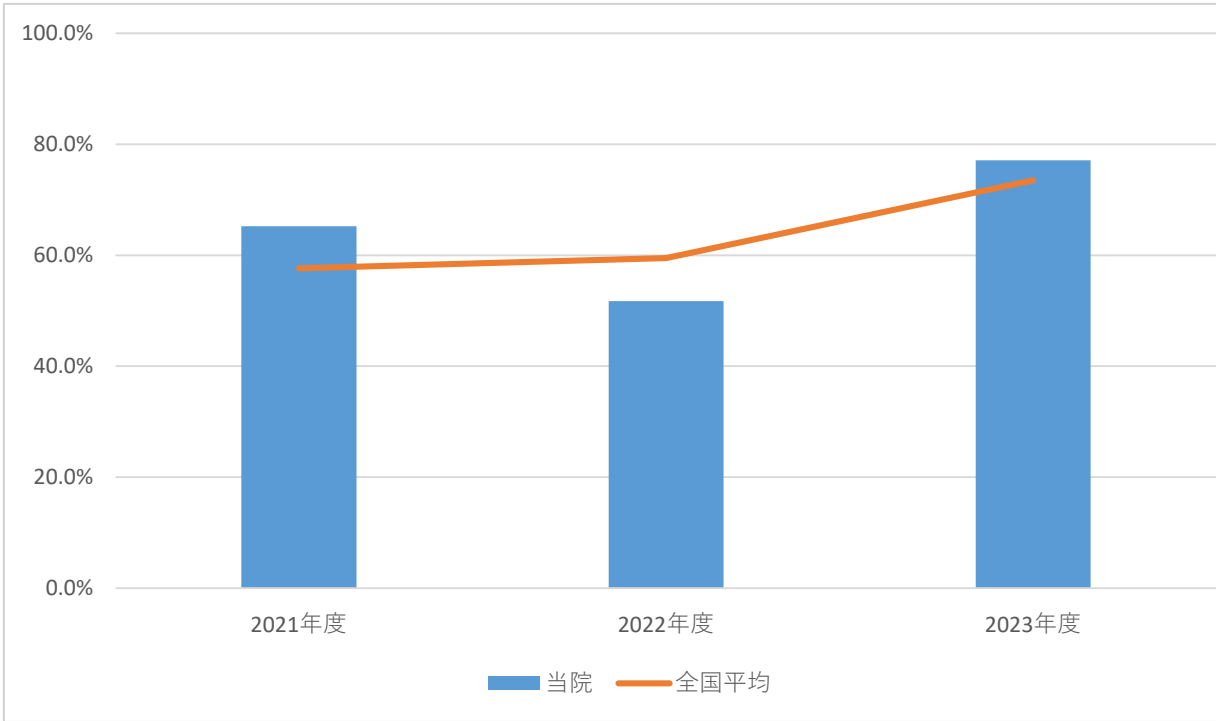
大腿骨頸部骨折の治療は、急性期の治療後も継続的な医学的管理とリハビリテーションが重要です。これらの患者に対する地域連携パスの使用等、地域連携に関連した実施率を見ることは、地域医療に関する医療体制を評価することにつながります。

定義

分母：大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数
分子：地域連携に関する算定のある患者数

当院の実績

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分母値			23	29	48
分子値			15	15	37
数値			65.2%	51.7%	77.1%



指標の説明

より高い値が望ましいとされます。
急性期の治療から回復期へのスムーズな移行ができるように病院同士での連携を強化する必要がありますが、小山近郊地域は急性期病床数に比べて連携先となる回復期の病床数が少ない傾向にあります。
今後の、地域医療構想の中で回復期の病床数の拡大が検討されることを期待しています。